

# 『2016人事院勧告』◎本俸・一時金とも3年連続引上げ勧告 ●「本省(霞ヶ関)手当」改善で、さらに「地域間格差」が拡大

8月8日、人事院は国会と内閣に対し、官民較差0.17%・708円にもとづく国家公務員の本俸(月例給)引上げ、一時金(ボーナス)支給月数改善などの「勧告」を行いました。2014年度(較差0.27%・1,090円)、2015年度(較差0.36%・1,469円)に続き、《本俸・一時金とも3年連続引上げ勧告》は1991年以来「25年ぶり=人勸史上3度目」です。

一方、昨年は「官民較差の8割」を「地域手当の改善」に充てたのに続き、今年も「官民較差の3割」を「本省手当(本府省業務調整手当)の改善」に充て、地域手当も本省手当もない地方と都市部で、さらに格差が拡大します。

また、配偶者に係る扶養手当額(13,000円)を他の扶養家族にかかる手当額(6,500円)と同額まで減額し、それにより生じる原資を用いて子に係る扶養手当額を引上げ(10,000円)、2020(H32)年度までに段階的に実施することを勧告しました。



第476号

発行所  
自治労連愛媛県本部  
松山市三番町8丁目10-2  
電話(089)931-7312  
FAX(089)933-1699  
j-ehime@sage.ocn.ne.jp  
発行人 後藤 重人  
編集人 村瀬 瑞恵  
(組合員の購読料は組合費のなかに含まれています)

### 日程

- 【9月】
  - 17 県本部拡大執行委員会・「人勸・給与制度学習」
  - 17 労安職業病対策委員会
  - 17 いのちと健康を守る中国セミナー(高知~18)
  - 19 県本部バレーボール大会(四国中央)
  - 22 女性部幹事会
  - 24 東予総支部定期総会(四国中央)
  - 28 市職評定期総会・県市長会長要請(西条)
  - 30 南予総支部代表者会議(西予)
- 【10月】
  - 1 地方自治研究全国集会(つくば市~2)
  - 1 自治体退職者会総会(松山)
  - 3 町村評定期総会・県町村会長要請(松山)
  - 8 青年部幹事会
  - 15 津島吉田病院労組大会
  - 16 医療介護評幹事会(内子)
  - 20 いのちと健康を守る全国集会(東京)

## ◎10月上旬愛媛県人事委員会『勧告』で官民較差是正を⇒『署名』集約を



**尚 保育課長と懇談**  
**「現場の頑張りに感謝している」**

今治市職保育部会は8月25日「要求書」にもとづく「保育課長との懇談会」を実施し11人が参加。はじめに保育課長が「日々保育現場の最前線で頑張ってくれている保育士さんに感謝している」とあいさつ。その後、①民間化・廃園問題、②人員確保や正規保育士の採用枠拡大、



**【保育部会】**  
**「職場実状」伝え改善要望**

8月12日「県子育て支援課懇談会」に7単組10人が参加。次の見解が示されました。①「子ども・子育て支援制度」の県内状況では、事務負担増は把握している。②「保育士の処遇改善」は県単独の施策は困難。書類の簡素化を市町担当課にヒア

西条市職労は8月31日「保育部全体集会&学習会」を開催し保育士40人(うち非正規10人)が参加。保育部役員が夏季交渉などを報告。県本部講師による学習後、今治市職の石井さんから自身の市臨時保育士6年の経験と組合に加入し『当事者の声』を直接伝え要求前

③非正規の待遇改善 ④書類の簡素化と時間外勤務 ⑤再任用・再雇用制度などを要求し意見交換。保育課長から「こういう場をもっと持たたい」と表明がありました。

8月12日「県子育て支援課懇談会」に7単組10人が参加。次の見解が示されました。①「子ども・子育て支援制度」の県内状況では、事務負担増は把握している。②「保育士の処遇改善」は県単独の施策は困難。書類の簡素化を市町担当課にヒア

進んだ経験を報告。非正規保育士率75%の西条市の現状、正規採用増や非正規改善を求める秋の要求活動への意見交換では「若い世代が市の保育士になりたいと思う職場にしたい」などの意見、パート職員が見つからない実状などの発言がありました。

西条市職労は8月31日「保育部全体集会&学習会」を開催し保育士40人(うち非正規10人)が参加。保育部役員が夏季交渉などを報告。県本部講師による学習後、今治市職の石井さんから自身の市臨時保育士6年の経験と組合に加入し『当事者の声』を直接伝え要求前

リングし精査していく。③「保育士不足」ではH25年から保育士・保育所支援センター開設し75人がマッチング。県議会で復職支援などの予算を確保したなど。参加者から、④「残業調べ」中間報告、⑤非正規保育士の改善要望、⑥正規募集でも集まらない保育士の疲弊状況など、職場の声を伝え、継続した懇談開催も約束しました。



《四国B野球大会》

室戸	0	0	0	0	1	1	0	2
松山	1	0	0	0	2	2	x	5

9月3日、内子町で「四国ブロック野球大会」を実施し、愛媛代表・松山市職労チームと高知代表・室戸市職労チームが対戦しました。1回裏松山はレフト前ヒットから3番が巧みにライト前へ運び、4番の犠牲フライで先制。5回表室戸はランナーをエラーで進めてタイムリー。松山はその後満塁とし、押し出し死球・四球で加点。室戸が6回表1点返すも、その裏松山がダメ押し。最後は松山のリーフが抑え、自治労連全国野球大会(11月21~23日滋賀県大津市)出場を決めました。

### 松山市職労チームが勝利 自治労連全国大会へ



8月9日、27回目の「平和の使者『千羽鶴』を海外へ送るつどい」が海外へ送るつどい」が松山市で行われ、16人が参加。「平和行進参加団体」から集まった約15万羽の折り鶴を箱詰めし、フィンランドとスウェーデンの3団体へ送り、計31万国81団体へ413万8千羽を送りました。「つどい」では、新土居

### 平和の使者「千羽鶴」を海外へ送るつどい



《全国大会》

8月20~23日、岡山県で「自治労連全国大会」が開催されました。21~23定期大会は、①憲法・地方自治を守りいかす地域と自治体づくりの運動、②不払残業根絶や健康管理を職場から求める予算人員闘争は住民のいのちと暮らしを守るたたかい、③すべての労働者の賃上げを求めずす制度的賃金闘争(最低賃金・公契約改善・公務員賃金引き上げ)の推進、④要求実現のチカラを大きくする『仲間づくり』組織強化拡大・共済加入の前進などが提起され、全国の苦労や工と暮らしを守るたたかい、夫、経験や実践を78人が発言しました。

### 憲法・地方自治いかし、人員増・職場改善で住民生活を守ろう

### 【伊予】「36歳以上組合員交流会」開催 仕事の悩み交流・ストレス解消

伊予市職労は7月29日、としました。コンロを囲み、ビールなどドリンクを酌み交わし、大いに盛り上がりました。「JR松山駅から近くて良い」年初めて「40歳以上組合員限定の懇親会」を実施したところ「またやってほしい」との声が多かったことから、今年もは枠を拡大し「36歳以上対象」



世代が集まった交流会で「日頃のストレス」をしっかりと解消できました。

### 【吉田病院】公立病院と医療介護の充実で 安全安心の地域を！

7月30日『市立吉田病院を存続・充実させる住民の会』の「第11回総会」に地域住民ら30人が参加。村上病院事務局長、赤松市議が「『住民の会』の奮闘で病院が存続していることに感謝する。建物耐震化の予算獲得へ検討を重ねている」来賓あいさつ。住民の会の石村事務局長が「常勤医師の確保

と並行して建物耐震化をすすめ、宇和島市内の3病院2施設が連携して地域医療の充実をめざす」などの次年度方針を提案し確認。記念講演では横山文彦さん（宇和島消防署吉田副分署長）が「南海地震に備えて」と題し、「地震の揺れが1分以上続いたら『南海地震』発生と思ってい。大災害発生時の公助には限界がある。自分の命は自分で守ろう」と日頃の備えの大切さを話しました。

### 【新居浜社協】市民に信頼され頼りにされる 社協にするため、みんなの団結を

新居浜市社会福祉協議会職員労働組合は8月12日「定期大会」を開催し37人が参加。最初に白川委員長が「この4年間で、組合員も増員、非正規5年雇用をやめさせ、継続できるようになった。市民に信頼され頼りにされる社協にするためにみんなの団結、組合員の後押

しが大切です」とあいさつ。障がい施設職場から「現場特有の悩みがある。声を集めて少しでもいい職場にしたい」、介護事業職場から「初めて事業所が赤字に。職場の将来が不安。長時間労働をなくすことが切実な要求だ」と職場状況の発言がありました。執行部の報告・提案が承認され、石井新委員長ほか新執行部を選出。大会後は懇親会で交流しました。

### 【新居浜】青年部『夏祭り』家族連れで BBQ&花火"楽しみました"

新居浜市職労は8月13日、青年部主催で夏休み恒例の「夏祭り」を『マリナーパーク新居浜』で開催し、親子連れで28人が参加しました。今年は小規模開催ではありましたが、初めての試みとして『手持ち花火』を実施しました。大人も子どもも



楽しく語り合いながら、花火や食事を楽しんでいました。

### 【宇和島病院】青年部「新入組合員歓迎会」 委員長が『加入記念品』贈呈

市立宇和島病院労組は8月19日、『リージェントホテルピアガーデン』で「青年部新入組合員歓迎会」を開催し、組合員26人、うち新入組合員6人が参加しました。青年部副部長の乾杯にはじまり、自己紹介をしたり、

多くの方が普段は話す機会のない他の部署の方とも楽しく会話できました。川口執行委員長から、新採1人ひとりに『組合員加入記念品』の贈呈もありました。おいしいお料理とお酒に会話も弾み、楽しく交流できました。

### 【西予】青年部「組合学習&交流会」 いっしょながら深夜まで大盛況

西予市職労は8月24日「青年部交流会」を開催し、行政職はじめ介護や保育の職場から24人が参加。まず、和気委員長講師の『ミニ学習会』を開催。「労働組合ってなあに？」をテーマに、なぜ組合が必要なのか、組合の権利や役割など組合運動の基礎を学習。昨年からチカラを入れている『自治労連共済プレゼン

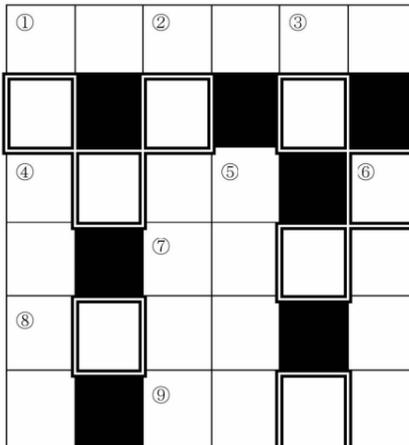
ト』についても説明。井上書記長は「組合は単なる任意団体でなく法律で保障され、要求活動がひいては地域活性化にもつながるとわかった」と発言。メインの『交流会』は青年パワー全開。懇親のなかで「自治労連と自治労があるのはなぜ？西予市の組合は統合できないの？」などなど、日頃言い出しにくい「モヤモヤする話題」でも盛り上がりしました。『交流会』はいっしょながら深夜までおよびましたが、みんな翌日元気に出動しました。

### 【ヨコのカギ】

- ①この上ない。危険〇〇〇〇〇
- ④愛媛県南西部の市。元伊達氏の城下町
- ⑦正式の記録以外の伝記。本伝に載っていない逸話など
- ⑧行政官庁が所管の機関や職員に文書で通知すること。厚生労働省〇〇〇〇
- ⑨北アメリカ大陸南部にある連邦共和国。テキサスなどが有名

### 【タテのカギ】

- ①人の生き血を吸うという魔物。バンパイア
- ②プロレス技の一種。オクトパスホールド
- ③大豆を炒って挽いた粉は「き〇〇」
- ⑤どの月も。月々。〇〇〇〇一回集まる
- ⑥「〇〇〇〇しよ、どっこいしよ」



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の8文字で、災害時に備え、26年ぶりに増設されたものにして下さい。

■474号のバズルの答えは「サナダノブシゲ」(真田信繁)でした。正解は6通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

### おたより ありがとう

- 今年の台風の動きは予想ができませんね。(津島吉田・小林)
- 残暑厳しい8月27日午前2時、右足に激痛が！人生2回目ムカデに噛まれました。こんなに痛かったかな。(西予・西崎)
- 大切な子どもたちを預かっているのに、日常のいろんな場面を想定しての避
- 先日、サイクリング中の観光客からドイツ語で
- 今年一度のオリンピック。2020年東京オリンピックがまち遠しいです。(新居浜・西原)
- 久しぶりにお便りを出します。今年定年退職を迎えます。年月が経過を早く感じています。8月下旬に家族9人で北海道旅行に出かける予定です。家族、職場の方々の支えでここまでできました。(西条・村上)
- 数年ぶりに休日の片舎の日直当番を経験しました。多種多様な問い合わせがあり非常に勉強になりました。欲を言えば業務として勤務する以上、いや、これ以上はやめておきましょう。(四国中央・山岡)